

たとえ、どんなに零落しても、 不死鳥のごとくに起ち上がる菩薩神人とは？

三千年来、抗争し、死斗を続けて
いるのは此の月と星の世界であって、
金木の主基悠紀の両翼である。この
対立斗争は全人類の宿業であって、
しかも此の宿業は偶然にあるいは
「忽然念起」(起信論)によっ
て発生したものではなく、日の
国高天原の天津日嗣の経綸
によって計画的に然らしめら
れたものである。

世界の淆乱は、神エホバ自
らの意志と計画によって招来
したものであるからには、またそ
の淆乱を收拾することが出来
る者は、またそのエホバ自らで
なければならない。

対立する月と星、月読、須
佐之男の両世界は、元々唯
一の調和した日の世界の内
容であったものが、ある時期に
高天原から計画的に分離し
て行ったものであって、その高
天原の計画経綸の目的であ
る人類の第二文明である科学が、人
間同志の対立抗争、生存競争をそ
の方便、培養基として創造され発達
した暁において、二つの世界がその
歴史的経営の全収穫を携えて、再
び元の日の国高天原の調和の世界
に揚棄摂取されることがその経綸の
予定である。しかしこの時、その高天
原の日の国とは、形而上の生命国家

日の本であって、それは眼の^ま^{あた}り見る
現在現実の日本のことではない。

現実の日本は第二次世界大戦以
来、世界の思想界から蹴り落とされ
て、現在は政治的に思想的に感情



Photo by Minoru Ichige

的に全くユダヤ米国の傘下にあり、
属国である。

世界の二律背反を解決する、日
本に有るはずの鍵である三種の神
器の法の存在場所は、現実の日本
政府や議会や大学や神社や宗派
神道ではない。彼らはその任務使命
を持たず、これに気づこうとしない。ま
た、自らの神性、すなわち神勅と神器

と高御座とを放棄した以後、憲法の
規定によって単なる国家の儀礼的
機関に換骨脱胎された天皇家でさ
えもない。

こうした現在の日本の機構は神武
変革以来、崇神朝の和光同
塵政策以来、精神的靈的に
自己閉鎖された、二千年間の
天の岩戸隠れの時代におけ
る、世を忍んでいる、いわば仮
の姿の日本であって、文明の
指導経綸者、世界の救世主
天津日嗣が知食す精神的完
全国家、高天原日本の正規
の姿ではない。この現在の靈
的にみすぼらしい侘び住まいの
日本の中に、人類の文明解決
の鍵である三種の神器を尋ね
ても見出し得ない。

かくして急速に歴史が^{たそが}黄昏
れて、^{かりそ}仮初めの日本の寿命が
尽きて精神的に零落しても、天
津日嗣の予定が来れば、本来
の日本が^{フェニックス}靈の廢墟の中から不死鳥
のごとくに起ち上がる。その本来の日本
人を法華^{じゅうじゆじつほん}経は從地涌出品の菩薩と
呼ぶ。自己の矛盾に狂乱する天津金
木の解決を^{もと}索めようとする世界の宗
教と科学とそして世界の権力統一の
責任者は、その本来の公の日本に涌
出する菩薩神人たちをやがて日本の
社会のどこかに探し当てることだろう。